

小平西のきずな

「小平西地区地域ネットワーク」ニュース No. 58

2026 年 06 月 09 日（火）発行

発行責任者:草野篤子(白梅学園大学)

TEL: 042-346-5639

住所:〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

ロボットに会いに来ませんか

佐久間路子

(白梅学園大学子ども学部教授)

2025 年度の白梅祭で、佐久間ゼミの 3 年生を中心に、コミュニケーションロボットとのふれあいの展示をしました。日本で販売されているロボットを 10 体ほど集めて、ロボットの特徴を調べて紹介するとともに、来場者の方々に自由にふれあってもらいました。

さて、みなさんは、コミュニケーションロボットと聞いて、どのようなイメージを持ちますか？ ロボットは硬くて冷たい、単なる機械としか思えないという方もいるかもしれません。ですが、白梅祭で展示したロボットは、丸みのある見た目、柔らかな手触りを持ち、人肌に近い温かさを感じられるものもありました。

パナソニックが開発した NICOBO（ニコボ）というロボットは、ずんぐりと丸くて、ふかふかした手触りで、きょろきょろ動く目が特徴です。声をする方に向くので、名前を呼ぶとにっこりと笑いかけてくれます（写真）。言葉も話すのですが、話

しかけても返事をしたり、しなかったりと、かなり気まぐれです。普段は私の研究室にいますが、疲れて部屋に戻ったとき、ふと目が合うと、自然に頭をなでてしまいます。また「やっと終わったよ」などと話しかけると、タイミングよく「おつかれさま」と答えてくれるときもあります。ロボットはあくまでも機械です。それをわかっていても、癒やされる感じがします。

町の中に、人が集まるところに、ロボットがいたらどうでしょうか？ 以前のロボットは雑談が苦手で、こちらが話しかけても「よくわかりません」と回答されてしまい、なかなか会話が続きませんでした。ですが、ChatGPT などの生成 AI と接続されることで、自然な会話や雑談も可能になりつつあります。ロボットを中心に人が集まり、会話をするというのもおそらく可能になっていくでしょう。ロボットの進化が加速していますが、それ以上に、私たちがロボットをどのように受け

入れていくのか、今はその点が問われていると思います。今年も白梅祭でロボットの展示を予定しています。ぜひ会いに来てください。



小平西地区地域ネットワークって何？

2012 年 3 月 17 日に白梅学園大学関係者が様々な NPO、ボランティア団体、民生・児童委員、町内会、大学・学校などに関係するの方々に呼びかけて「お互いの顔が見える人間関係が豊かな地域づくり」を目指して立ち上げました。個人ベース（団体の担当者でも可）の加入を基本とする開かれたネットワークです。市民の皆さん一緒に活動に参加なさいませんか？

「わっしょい！みんなで遊んで楽しむ運動会」

—あそぼうかい&世代間交流広場開催—

川端一生(白梅学園大学子ども心理学科2年)

2025年5月16日に、白梅学園大学・短期大学構内にて「あそぼうかい&世代間交流広場」を開催しました。

今回のテーマは「わっしょい！みんなで楽しむ運動会」と題しまして、運動会にちなんだコーナーや装飾を作り、年齢の垣根を超えて関わりあえる会を作り上げました。



また、今回は例年の「うけつけ」「あそび」「せいさく」「ホッとスペース」「おわりのつどい」の五つのコーナーに加えて、新しく「なんでもつながり相談コーナー」を新設することができました。あそぼうかい・世代間交流広場を通して、私たちができることは何かを改めて考えることができました。

「うけつけ」では、運動会を連想させる三種類の名札を準備し、参加者さんを迎えました。J棟の入り口から、運動会感満載の豪華な装飾も作り、参加者さんたちにワクワクしてもらえるような空間を作り上げることができました。

「あそび」では、お弁当の具を釣るゲームや玉

入れゲームなど、ユニークで面白い企画を実施しました。今回は「おわりのつどい」とも協力し、「あそび&おわつどタイム」を設け、テーマの運動会をイメージし、参加者さんが一体となって盛り上げられる「借り物競争」と「ひっくり返しゲーム」を行いました。

「せいさく」では、ミニフラッグとメダルの製作を行いました。運動会といえば、メダルのイメージがあると思います。参加者さんの個性溢れるオリジナルメダル作り、ミニフラッグ作りは見て楽しい、作って楽しい時間となりました。

「ホッとスペース」では、お弁当をモチーフとした遊びや装飾で大盛り上がりでした。ホッと一息つきながらも、学生と子どもが関わりあえる素敵な空間が広がっていました。

「なんでもつながり相談コーナー」では、地域包括支援センターけやきの郷の職員2名と小平市社会福祉協議会のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）さんを迎え、あそぼうかい&世代間交流広場を通じて、人と人をつなげる活動に取り組むことができました。初めての試みであり改善点も多くありますが、この活動を継続していきたいという強い思いがあります。協力してくださった、すべての方に感謝を申し上げます。

今年初めてのあそぼうかい&世代間交流広場でしたが、前年度をはるかに超える参加者さんを迎え、大盛況に終えることができました。一年生と協力して行う初めてのあそぼうかいでしたが、一人一人が熱心に活動していたのが印象的です。今後もあそぼうかい&世代間交流広場ができることについて考え、7月11日に行われる7月「あそぼうかい」に向けて頑張っていこうと思います。

新しい第2こだまができました

NPO 法人第2こだま 木村重成

都市計画道路ができるため移転を余儀なくされていましたが、やっと津田町 1-13-1 に新しい第2

こだまができました。私たちはNPO（非営利活動法人）なので、資金力はありませんが、福祉債権を



発行し、100人の市民のみなさんからの資金協

力を仰ぎ、駐車場兼備の103坪の広い土地を確保できました。ここで4月1日からデイサービス、ホームヘルプ、移送サービス、ケアマネの仕事が始まっています。私たちは津田町3丁目で小規模多機能サービスの仕事も行っています。デイサービスは少し広くなり15人定員となりました。毎日中央公園に散歩に行きます。帰れば手作りのおいしい昼食が評判です。ぜひ一度遊びに来てください。

ベトナムという国を訪ねて

草野篤子（白梅学園大学）

キーワード

フランスパン、コロニアル風建物、広大なオーシャン・ビュー、ベトちゃん・ドクちゃん、枯葉剤、クチ・トンネル、ホーチミン、アメリカによる爆撃、徴兵制（米国）、南ベトナム民族解放戦線、ベトナム社会主義共和国の成立

先日、ベトナムのダナンと、ホーチミン市を訪ねてきました。ベトナム訪問は、これが3回目です。朝から焼き立てのフランスパンを食し、街にはコロニアル風建物がみられるベトナム。ベトナムの歴史をほんの少しだけ見てみたいと思います。

現代ベトナム小史 1954年に、ホーチミンに率いられたベトミンは、フランス軍を撃破しました。しかしジュネーブ協定により、ベトナムは北緯17度線で南北に分断されてしまいました。インドシナ半島への共産主義の拡大を恐れて、米国はベトナムへ軍事介入を始めました。1955年には、米国を後ろ盾としたベトナム共和国が成立し、北には、社会主義体制を敷くベトナム民主共和国が成立しました。1960年には、南ベトナムの米国追従的な政府に対して、農民や労働者が、南ベトナム民族解放戦線を組織し、政府とアメリカに宣戦布告をしました。米国は近代兵器を投入する一方、解放戦線の方は、ゲリラ戦を展開し、激しい戦いが長期化しました。米国は国内で徴兵制を敷き、米国経済も疲弊するなど、また世界的な反対運動や非難を受け、1968年には北爆を停止し、翌年には撤退。米国の後ろ盾を失った南ベトナム政府は、サイゴンが陥落して、1975年4月、ベトナム戦争はようやく終結しました。1976年7月、多くの犠牲を払った長い戦いの末に、南北を統一したベトナム社会主義共和国が誕生しました。

枯葉剤

枯葉剤は、それを直接に浴びた人だけでなく、流産、出生児の様々な先天的異常が認められました。ベトナムの人びとには、子どもやそのまた子どもと四世代にわたって、奇形をはじめ様々な先天的障害が発生しています。ベトナムに派兵された米兵の子どもにも、出生児には各種の身体欠損、身体発達障害、知的障害、皮膚病、口蓋裂、ガン早発の傾向等がみられます。枯葉剤にはダイオキシンが多く含まれているのです。

ベトちゃん・ドクちゃん

下半身つながった「一胴二体」の結合双生児としてベトナムで産まれた双子の兄弟。2人が結合双生児となったのは、ベトナム戦争時に米軍が大量に散布した枯葉剤の被害の可能性があります。1988年、ベトちゃんが急性脳症となったことを契機に兄弟の分離手術が行われました。

分離後、ドクちゃんは障碍児学校から中学校に入学。中学校を中退しましたが、職業学校でコンピュータープログラムを学び、トゥーズー病院の事務員となり、事務業の傍らボランティア活動も

行っています。ドクちゃんは、ボランティア活動で知り合った女性と結婚し、2009年10月25日、ドクちゃんの妻・テュエンさんがツーズー病院で男女の双子を出産。それぞれ富士山と桜にちなみ、男児はグエン・フー・シー（Nguyễn Phú Sĩ / 阮富士）、女児はグエン・アイン・ダオ（Nguyễn Anh Đào / 阮櫻桃）と命名されました。

一方、2007年10月6日1時、ベトちゃんは、腎不全と肺炎の併発により26歳で死去しました。

クチ・トンネル

クチ・トンネルは、地下が三層構造になっていて、長さ250キロメートルも続いています。住人は、岩盤の硬い壁をノミだけで、掘り進めたのです。当時、住人は16,000人ともいわれています。その内、6,000人が命を失っています。トンネルの中には、会議室、指令室、台所、寝室などがあり、弾丸を製造する様子や戦車なども残されており、今でも見学することができます。

広大なオーシャン・ビュー

20年以上にわたるベトナム戦争に自らの手で勝利したベトナムの農民や労働者は、今では、ようやくその手に平和を獲得し、米国の戦闘機や潜水艦などが占拠していた港湾を、観光客を迎える広大なオーシャン・ビューを楽しめるホテル群などに変わっています。

ベトナム戦争の時には、米国は日本の沖縄の数多くの米軍基地、本土の横須賀、佐世保、横田基地などから、昼夜を問わず、ベトナムへ爆撃に出

て行きました。日本には憲法第九条があり、海外の国々に戦闘を仕掛けることは、許されていません。

今日、日本の米軍基地から、他国を陥れ、他国の人びとを殺戮する米国基地の利用を許すことがないようになってほしいものです。

写真：ホーチミン市郊外にあるクチ・トンネルに出入りする人1人だけが通れる出入口



小平西地区地域ネットワーク第59回地域懇談会報告 「白梅子育て広場20周年を迎えて」

3月7日（土）15時より、白梅学園大学I棟において小平西地区地域ネットワークの第59回地域懇談会が開催されました。今回のテーマは「白梅子育て広場20周年を迎えて」ということで、20年前にスタートした子育て広場が、この3月で20年になることを踏まえての懇談会でした。「子育て広場」は、2005年に短期大学生と地域を結ぶことを目的として、国の支援を受けてスタートしました。2015年3月に10周年の記念式典を開催し、それからさらに10年の積み上げが行われています。

懇談会では草野代表に続いて小玉学長よりビデオレターのあいさつがあり、子育て広場の意義について大学の立場からお話をいただきました。続

いてこの20年間ずっと子育て広場の顧問として関わってきた小松歩教授より、この10年間にしぼって話をいただきました。特にこの10年は子育て広場が大学から学外に出て様々な行事に参加している様子が報告されました。2020年からのコロナ禍において、一時は活動を制限せざるを得ない時期もありましたが、それを乗り越えての現在があります。

質疑討論においては子育て広場の初代GP学生委員会の小川さんから開設当時の苦勞と地域とのかかりについて、そして現在関わっている学生へのエールが送られました。また現在中心となっている学生からは子育て広場が地域に認知され、

様々な交流が進んでいる様子が報告され、20 年の積み上げが力になっていることを感じさせられました。

『白梅子育て広場』20 年の歩み



(2016 年 3 月 27 日白梅子育て広場 10 周年記念会)

2026 年 3 月
白梅学園大学・白梅学園短期大学
白梅子育て広場 20 周年記念実行委員会

今回 20 周年にあたって記念誌を作成しました。関

係している教職員をはじめ、OB や地域からのメッセージ、連携をとってきた朝鮮大学校の先生方のメッセージ、「小平西のきずな」に毎号の様に投稿された子育て広場の報告等があり、10 年間の重みを感じさせます。

最後にこれからの 10 年に向けて歩み続けることを祈念して閉会となりました。オンラインを含めて 30 名の参加でした。

様々な大学が地域貢献ということで積極的に関わりを持つようになったのは 21 世紀に入ってからですが、それを継続するということは大変なことです。「白梅子育て広場」が 20 年続いたことは学生たちの意欲はもちろんのことですが、大学や地域の支援がなければ続きません。あらためて感謝申し上げるとともに、今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

「あるいてうたって春をたのしもう」

地域包括支援センターけやきの郷 主任介護支援専門員（ケアマネジャー）

古屋進一

小平市の西圏域の高齢者の総合相談窓口になります地域包括支援センターけやきの郷で、主任介護支援専門員（ケアマネジャー）、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）として勤務しております古屋（こや）と言います。ケアマネジャーとしては、今年で 20 年位になります。生活支援コーディネーターとして 2 年目で、長く担当している中川生活支援コーディネーターに教えてもらいながら、活動しております。普段は、要支援認定を受けた方の支援や総合相談の対応、ケアマネジャーとの交流の場作り、ケアマネジャーの後方支援などが主任介護支援専門員としての立場の仕事です。生活支援コーディネーターとして地域の方々とは、フレイル予防の体操の場、フレトレ体操（最低 3 人以上が集まる住民主体の場）に足を運んだり、ポッチャ（こちらも住民主体の場）が開かれている場にお手伝いに行かせて頂いたり、コミュニケーションを図らせて頂いています。その他、小平市内西側の圏域 2 層協議会（1 層は市全体）で「ゆーあんどあいうえすと」にも参加させ

て頂き、地域住民 20 名程度の方々と地域課題や、集いの場、居場所作り、協議会メンバー個々の得意分野を生かせる場が出来ないかなど話し合いを月 1 回話し合われています。

今回は、その「ゆーあんどあいうえすと」の協議会メンバーの方々の協力の元、R8.4.28（火）に「あるいてうたって春をたのしもう」を実施しました。今年が初めてではなく、昨年が 1 回目で、今年が 2 回目となる企画です。昨年は、中島地域センターを出発し、立川通り沿い、玉川上水緑道と歩きました。小平市の端になる玉川上水沿いにある、ごみ焼却施設の余熱を利用した「こもればの足湯」に寄り、足を温めたあとに、隣接されている障がい者施設の作業所（生活介護事業）社会福祉法人ときわ会「あさやけ風の作業所」の 2 階にオープンされている「CAZE CAFE」の喫茶店があります。そこを貸切させて頂き、スコーン、飲み物を飲みながら、ボランティアの方に協力の元、オカリナを演奏、そして、その演奏に合わせて歌い、春を楽しむということを実施致しました。その場がゴー

ルとなり、解散となりました。30名の住民の方々に参加して頂き、「ゆーあんどあいうえすと」のメンバー15名の方に協力頂き、無事、事故など起ることがなく終えることが出来ました。

その時に好評で、また今年も実施して欲しいという声が多くあり、2回目を実施する流れとなりました。前回とゴール場所、玉川上水緑道を歩くということは同じでしたが、歩くコース内容に変更はありました。まずは、集合場所が上水新町地域センターと変更となりました。前回の中島地域センターよりは少し歩く距離が200メートル程長くなりました。

事前の協議会メンバーの方々と歩くコースで危険な場所を確認し、一番問題なのは、小川橋の交差点で歩行者が待つスペースが狭く、信号が変わるのも早く2回や複数に分けて渡った方が良いなど色々検討しました。

前は途中、「こもれびの足湯」に寄りましたが、今回は、同じ玉川上水緑道の脇途中にある「オープンガーデン（森田邸）」により、花を観たり、好きな方はパンを購入したりして楽しむという企画を途中に入れました。

開催時期は、前回と同じ4月末で、暑い時期は避けたいという気持ちで、当日まで天候が心配でした。前日の午前中まで雨が降っており、当日は足場が悪く、開催時期延期を心配しましたが、すぐに天気が良くなり、快晴となり、玉川上水緑道に水たまりが出来るか心配していましたが、その心配はいらない程、当日に向けて天候は良くなりました。

参加人数は、前は 30 名と多かったですが、「KAZE CAFE」への負担が大きかった為、今回 15

名と半分しました。募集をかけるとすぐに定員に達しました。参加人数が少なくなった分「ゆーあんどあいうえすと」の方々の人数と変わらず、マンツーマンでサポート出来る程で、安全面では前回より強化出来る体制が取れました。

もうひとつ前回とは違うのは、「KAZE CAFE」到着後の楽器演奏がオカリナから、アコーディオンとオーボエとのコラボミニコンサート。今回もボランティアの方の協力ですが、オーボエは「ゆーあんどあいうえすと」のメンバーからの協力でした。そして、R8年4月28日（火）当日を迎えました。天候に恵まれ、時々風がありましたが、その分、体感温度は低く感じることも出来、玉川上水緑道も木陰があり、暑さの心配もなかったです。

「オープンガーデン（森田邸）」では、様々な花を見て楽しむ方、パンを購入される方、椅子に座って、会話に花を咲かせる、ドッグランを見て楽しむなど、それぞれで楽しまれていたかと思います。

小川橋交差点の信号を渡る時が一番の心配する場所でしたが、参加者の方々の歩くペースが想像より早く、心配をよそに一度に渡り切ることが出来ました。

最後のゴール「あさやけ風の作業所」の2階にオープンされている「KAZE CAFE」に到着し、今年も貸切にさせて頂き、スコーン、飲み物を口にしながら、アコーディオン、オーボエのミニコンサート、アコーディオン演奏に合わせ参加者皆さんと歌を歌い、最後は「上を向いて歩こう」を歌い、締めくくりました。今回も怪我人が出ることなく無事に終わられたことが良かったです。また、好評であれば来年も開催することがあるかもしれません。その時はまた、ご案内させて頂きます。

映画『ソリヨモヨウ』（声よ集まれ）を観て 瀧口 優（西ネット大学世話人）

5月11日（月）夜18時から朝鮮大学校の講堂で、映画『ソリヨモヨウ』（声よ集まれ）を観ました。在日朝鮮の人々が日本政府や心無い日本人から様々な差別を受けていることについては知っていますが、この映画はこうした差別に対して日本人として何とかしようと闘っている人々が主人公です。

映画のタイトル『声よ集まれ』は、朝鮮大学校

の学生たちが「高校無償化」適用を求めて歌い始めた歌で、日本社会に問いかけるかのように「どれだけ叫べばいいのだろう、奪われ続けた声がある、聞こえるかい？聞いているかい？」と歌い出します。今ではこの歌が全国で歌われるようになっています。

朴英二監督は「なぜこの人たちは、朝鮮学校を応援し、在日朝鮮人と共に歩むのだろうか」とい

う思いから日本中の朝鮮学校で取材をおこない、活動のきっかけや思いをカメラに収めています。滋賀朝鮮学校において毎年行われている地域まつり「ウリハッキョマダン」（朝鮮学校まつり）は1000 人もの人々が集まっており、その多くが地域の日本人であることが映像化されています。ドキュメンタリー映画ですが、そこに一人一人の差別をすることを許さないという心が見えます。

日本政府は「経済的社会的文化的権利に関する国際規約」、「市民的及び政治的権利に関する国際

規約」や「子どもの権利条約」を批准していますが、これらの条約に反して、実際はこうした差別を政府自らが作り出すようなことをやっているのが現状です。私たち自身の中にもこれを許してしまっている弱さがあります。上映後に朴監督が挨拶されましたが、「一人ひとりが助け合う心を少しずつ意識するだけでも今より少しは優しい社会に向かっていくのではないのでしょうか」ということばに励まされました。

第36回ほっとスペース「第二きよか」開催 3年が経過しました

瀧口 優（自宅提供者）

2023 年6月にスタートしたほっとスペース「第二きよか」ですが、5月11日（月）で36回目をむかえました「第二きよか」は地域の居場所として8年間行われてきた「きよか」の継続としてスタートしています。自宅を開放し、毎月第一月曜日の



13時30分から15時30分までお茶やコーヒーを飲みながら交流をしています。この日の参加は地

域包括支援センターや民生委員、社会福祉法人、白梅学園大学の教員をはじめとしてスタッフを加えて18名でした。

はじめはテーブルごとに話が始まって、途中で初めての参加者には簡単に自己紹介をしてもらい、場に馴染んでもらいます。スタッフからは事前に準備したお菓子のセットと日本茶が配られ、食べながら飲みながらの交流です。途中でベトナム珈琲も準備されます。

最後はみんなで歌を歌います。この日は「瑠璃色の地球」「少年時代」を二部合唱も含めて練習しました。この1年、老人施設や高齢者クラブに出かけて行って発表することもあり、今年は白梅学園大学の学園祭などにも発表予定です。

最後に参加者からそれぞれ参加を促す取り組みについて報告があり、朝鮮大学校で行われた映画『ソリヨモヨラ』（声よ集まれ）もここで紹介されました（別記事参照）。7月は6日、8月は10日、9月は7日です。ぜひご参加ください。

◆5月の歌 金田利子

- ・この月は憲法記念日子どもの日 それにちなんだミソヒト文字を
- ・ありのままのあなたが大事子どもたち『絵本で感じる憲法』*の意味
- ・憲法は権力縛るものだという 基本に立ちて読み合おう再び
- ・目標は平和にあると改憲派、手段も平和で死者出さぬ九条

*山崎翠『『絵本で感じる憲法』大月書店2017』参照

皆さん、コミュニティ・サロン(下の①～③)と「中学生勉強会」(④)に足を運んでみませんか?

お待ちしております！

① ほっとスペースさつき

毎週火曜と木曜 10:00~16:00 (移転先検討中)

② ほっとスペース第二きよか

毎月第1月曜 13:30 ~15:30 参加費 200 円 (移転先：小平市小川町 1-755-2-106) 問合せ：瀧口優 TEL：080-3450-6878

*2023 年 7 月 10 日 (月)「ほっとスペース第二きよか」がスタートしました。

*第一もしくは第二月曜に実施しています。(今後の予定は、7 月 6 日、8 月 10 日、9 月 7 日、10 月 5 日) 13 時 30 分~15 時 30 分です。

③ カフェなかじま

毎月第1水曜日(祝日の場合は第2水曜日) 13:30~15:30 中島地域センター 参加費 100 円

④「分かった会」小中無科学習教室

毎週木曜日 18:00~20:00 (小川公民館) 問合せ：奈良 勝行 (講師募集中!) TEL:090-4435-4306

9 月からは火曜日も中学校 3 年生用として開室しています。

イベントの予定

- ・06 月 28 日 (日) 11 時~ だれでも食堂おがわん (小川ホーム)
- ・07 月 26 日 (日) 11 時~ だれでも食堂おがわん (小川ホーム)
- ・08 月 30 日 (日) 11 時~ だれでも食堂おがわん (小川ホーム)
- ・09 月 27 日 (日) 10 時~ たいよう福祉センターまつり
- ・09 月 27 日 (日) 11 時~ だれでも食堂おがわん (小川ホーム)

西ネットの今後の予定

- 大学世話人会: 06 月 23 日 (火) 18 時~
- 地域世話人会: 07 月 28 日 (火) 18 時~
- 大学世話人会: 07 月 28 日 (火) 18 時~
- 地域世話人会: 09 月 08 日 (火) 18 時~
- 地域懇談会: 09 月 29 日 (火) 18 時~

西ネットの世話人

ブロック	地域世話人	大学世話人
1	西 克彦・丸山安三	瀧口 優・福丸由佳
2	足立隆子	吉村季織
3	大内智恵子・久保田進・	金田利子・草野篤子
4	桜田 誠・細江卓朗	井原哲人・森山千賀子
全体		奈良勝行

西ネットの世話人を募集しています。瀧口まで連絡してください。(takiguchi-masaru@iaa.itkeeper.ne.jp)

お願い：この広報紙『小平西のきずな』の編集方針は、「顔の見えるネットワークづくり」を目指して参加団体(者)の活動などを紹介し、文字通り「市民のきずな」を築いていこうとするものです。ニュースの全部または一部を改編することはお断りします。もし使用したい場合は編集担当までお申し出下さい。

投稿募集：このニューズレターは皆さんと一緒に作るものです。活動の報告やイベントの企画などについての原稿をお寄せください(奈良勝行)。

メール：ever.onward.nara@xd5.so-net.ne.jp

編集後記：「小平西のきずな」も今回で 58 号を迎えます。西ネットのスタートから 14 年が経過していますが、今後も人と人をつなげることを柱に取り組みを続けたいと思います。(瀧口)。